

平成 28 年度 第 3 回 鴨川市水道事業運営委員会 会議録

日 時：平成 29 年 1 月 17 日（火）午後 1 時 30 分から午後 2 時 25 分

場 所：鴨川市水道局 1 階会議室

出席者：平松健治、久保忠一、刈込信道

川名義夫、川上正利、梶 恵子、満田秀夫、村尾信行、中村康仁

(欠席委員)：山崎美保子

事務局：市長 長谷川孝夫

水道局次長 角田敬夫

業務係長 佐久間泰弘、工務係長 鈴木武志

業務係 主査 山田英則、主査 吉田泰行

傍聴者：なし

1 開 会

(事務局)

御案内の時間となりましたので、ただ今から、平成 28 年度第 3 回鴨川市水道事業運営委員会を開催させていただきます。

最初に、配布資料の確認をさせていただきます。席にお配りさせていただきました「会議次第」。それから、両面印刷となっております、「収入支出予算書(案)」と「平成 29 年度鴨川市水道事業会計予算説明資料(主要な建設改良事業)」。

そして、事前に配布させていただきました、「委員名簿」、「鴨川市水道事業運営委員会設置条例」、「議案 1 平成 29 年度水道事業会計予算」、「議案 1 説明資料 平成 29 年度水道事業会計予算」。以上でございます。

次に、本日の会議の取扱いについて御説明をさせていただきます。本日の会議は、「鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領」等により、会議を公開することといたします。

また、会議録を作成し、公開するため、録音させていただきます。

本日、山崎委員さんより欠席の連絡が入っております。

本日の出席委員は 9 名でございますので「鴨川市水道事業運営委員会設置条例」第 5 条第 2 項の規定により、過半数を超えておりますので、本委員会は成立いたしますことを報告させていただきます。

2 市長あいさつ

(市長あいさつ)

新しい年が明けまして、初めてお目通りを願う方もいらっしゃるでしょう。改めまして、明けましておめでとうございます。どうぞ本年もよろしく願い申し上げます。

それでは、挨拶の方を申し上げます。

本日は、御案内のように水道事業運営委員会を開催させていただきました。年初めの大変お忙しい中、御出席をいただきましたこと、心から御礼を申し上げさせていただきます。本年も引き続き水道事業の推進につきまして、格別なる御理解と御力添えを賜りますよう、お願いを申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、水需要大変厳しいものがありまして、したがって財務状況も非常に厳しいところがあったところでございますが、水道水の安定給水のために、曾呂の畑地区の加圧ポンプ所他の、ポンプ所更新工事等の老朽化対策工事を発注いたしておるところでございますが、これら現在施工中であることを申し上げます。

また、事業の財務内容につきましては、一昨年度から大口需要者の自己水源への切り替えでありますとか、官公庁等によります節水、8月後半の水需要の伸びる時期に、御案内のように連続して到来いたしました台風等の影響もあって、有収水量は伸びずに上半期の合計では、前年度と比べまして2.7パーセントの減少であったところでございます。金額にいたしまして、税抜きではございますが、1,500万円程度の減収となったところでございます。

また、下半期の動向は、若干回復をいたしまして、本年度末では前年度対比マイナス1,300万円程度が見込まれておるところでございますが、当然のことながら大変厳しい状況となっているところでございます。

企業債の残高につきましては、合併時の約73億円から今年度末には約33億円に減少できる予定となっているところでございます。しかしながら、水道事業は24時間途絶える事のない、事業運営を維持していかなければならないということから、今後も経費の適切な節減に努めまして、効率的な経営を追求しながら技術職員の育成、あるいは国の補助事業の動向を見極めながら設備の更新、あるいは幅広く対応していくことが必要であるスキル等についても、考えておるところでございます。

そして、本年度に引き続き平成29年度につきましても高料金対策といたしまして、市の一般財源から1億8,000万円程度、併せまして県からも補助金としてほぼ同額を受け入れることで、経営の安定に期することといたしたいと考えている

ところでございます。

さて、本日の議案でございますが、平成 29 年度当初予算について、でございます。この議案につきましては、来る平成 29 年第 1 回定例市議会に提案をさせていただき予定でございますが、これに先立ちまして、この運営員会委員の皆様方に御説明をさせていただき、あらかじめ御承認を賜りたいと存じておるところでございます。

初めに、平成 29 年度の鴨川市水道事業会計予算についてでございます。業務の予定量でございますが、給水戸数は 1 万 8,070 戸、年間の総給水量は 520 万立方メートル、主な建設改良事業費を 2 億 4,833 万 4,000 円と予定させていただきました。

次に、これらの収益的収支でございますが、事業収益を 17 億 3,517 万 5,000 円、事業費といたしまして、15 億 3,064 万 5,000 円を見込ませていただきまして、更なる経営の効率化を進めて参る所存でございます。

また、資本的収支でございますが、老朽化が進行しておりました横渚・保台の浄水場監視制御設備更新を始めといたしまして電機・機械器具設備の更新に加えまして、漏水事故の多い平塚地区におきまして、配水管布設替工事を実施させていただきもので、収入では 1 億 3,672 万 6,000 円、支出では 6 億 2,474 万円を見込ませていただきました。今後も水道事業を取り巻く環境、大変厳しいものがあるわけでございます。社会経済状況等の変化による給水量の伸び悩みや、水道施設の多くが更新の時期を迎えておりまして、解決すべき課題も多くあるところでございますが、市民の皆様が安心して暮らしていける、水道事業の運営に努めて参る所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

以上、概要について申し述べさせていただきました。詳細につきましては、この後、角田次長の方から説明させていただきますので、よろしく御審議をお願いしたいと存じます。

さて、委員の皆様方の任期も、この 3 月までとなっております。これまで委員の皆様方には、水道事業の在るべき姿などにつきまして、慎重なる御審議のうえ御意見・御提案をいただいたところございまして、心から感謝を申し上げる次第でございます。引き続き御指導等を賜りますようお願いを申し上げまして、私からの挨拶に代えさせていただきます。

この後の審議、よろしくどうぞお願いいたします。

3 議事

(久保会長)

本日の会議録の確認をしていただく委員さんにつきましては、川上委員さんと満田委員さんを御指名させていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

早速議事を進めさせていただきます。

議案(1)平成29年度水道事業会計予算について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは、議案(1)平成29年度鴨川市水道事業会計予算につきまして説明を申し上げます。

恐れ入りますが、議案1予算書を御覧いただきたくと存じます。

また、議案1説明資料の最後に収入支出予算書(案)、これは予算の前年度の比較表となっておりますので、御覧いただきたくと存じます。

そして、裏のページに主要な建設改良事業の説明資料を配布させていただきましたので、併せて御覧いただきたくと存じます。

鴨川市水道事業としての近年の課題でございますが、既に耐用年数を経過した浄水場を始めとする、各施設の更新をどのように実施していくかということと共に、使用水量が人口の減少や節水意識の高まり、大口需要者の地下水利用などにより、毎年減少して来ている中で、その費用をどのように捻出し計画的に更新を行っていくかということでございます。

これらを抜本的に解決していくためには、莫大な費用と時間が必要となりますことから、当面は既存施設の延命化を図りながら、現在、総務省から要請されております、経営戦略の策定を行うほか、今、事務レベルの資料収集を始めとする研究協議が進められている、水道事業の広域化の進捗状況を勘案しながら、更新事業に取り組んで参りたいと存じております。

また、当然のことながら、使用水量の減少は、そのまま水道料金の収入の減少にも直結しますことから、可能な限り支出を抑え、一般会計や県の高料金対策補助金を有効に活用しながら、財政の健全化に向けて取り組むことといたしながら、平成29年度の当初予算を編成いたしました。

まず、初めに議案1、1ページの第2条、業務の予定量でございますけれども、給水戸数を1万8,070戸、年間総給水量は、前年度比0.8パーセント減の520万立方メートル、そして一日平均給水量を1万4,246立方メートルと見込ませていただいたところでございます。

また、建設改良事業費でございますが、2億4,833万4,000円と予定させていただきます

きました。

続いて、第3条の収益的収入及び支出でございます。収入といたしまして、第1款事業収益を前年度比4.3パーセント減の17億3,517万5,000円と見込ませていただきました。

内訳でございますが、給水収益などの営業収益、給水申込負担金、市一般会計や県からの高料金対策補助金などの営業外収益でございます。

次に支出でございますが、第1款事業費を前年度比0.1パーセント減の15億3,064万5,000円と予定させていただきました。

内訳でございますが、原水費、浄水費、配水及び給水費、受託工事費、総係費、減価償却費などの営業費用と、支払利息、消費税などの営業外費用、そして、特別損失及び予備費でございます。

収益的収支では、支払利息の減少等で差引2億453万円の黒字を見込ませていただきました。

続いて、2ページになりますが、第4条の資本的収入及び支出でございます。

まず、第1款資本的収入では、1億3,672万6,000円の予定でございます。その内訳でございますが、企業債、負担金、出資金などがございます。

次に、第1款資本的支出は、前年度比35.6パーセント増の6億2,474万円を予定させていただきました。内訳でございますが、建設改良事業費、企業債償還金及び予備費でございます。

また、主な建設改良事業費といたしましては、浄水設備である、横渚・保台浄水場監視制御設備の更新に重点を置きまして、平塚地先の配水管布設替工事、保台ダム水位計更新工事、更には漏水調査のための超音波流量計の購入などを予定させていただきました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し、不足する額4億8,801万4,000円は、過年度分損益勘定留保資金2億3,449万8,000円、当年度分損益勘定留保資金946万8,000円、減債積立金2億2,502万9,000円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,901万9,000円で補填をさせていただきたいとします。

次に、第5条でございますが、企業債の借入限度額と、その目的などを定めるものとして、借入限度額を1億2,000万円といたしたいものがございます。

次に第6条でございますが、一時借入金の限度額として2億円と定めたいとするものがございます。

次に、3ページに移りまして第7条でございますが、経費の流用をすることができる項目として、営業費用と営業外費用でございます。

次に、第8条でございますが、議会の議決を経なければ流用することができない経

費を定めたいものでございます。

次に、第9条は他会計からの補助金、これは一般会計からの補助金でございます、1億8,555万9,000円を予定させていただいているところでございます。

次に、第10条では、たな卸資産購入限度額を6,376万9,000円といたしたいものでございます。

予算に関する説明書の5ページから7ページは、予算の実施計画でございますので、後ほど御覧いただきたいと存じます。

続いて、8ページをお開きいただきたいと存じます。予定キャッシュフロー計算書でございます。業務活動、投資活動、そして財務活動による資金の増加額は、8,115万7,000円と見込まれ、資金の期首残高が10億5,438万1,000円と見込まれることから期末残高は、差引で11億3,553万8,000円となる予定でございます。

9ページ以降は、給与明細書等でございますので、後ほど御覧をいただきたいと存じます。以上で議案1の説明を終わらせていただきます。

(久保会長)

説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。

質疑、ございますか。

=== 「ありません」 の声 ===

(久保会長)

はい。なければ、よろしいでしょうか。

御質問がないようですので、ただ今の件につきましては、承認ということで御異議ございませんでしょうか。

=== 「異議なし」 の声あり ===

(久保会長)

御異議なしと認め、原案のとおり答申することに決定いたしました。

以上で、本日の議件を終了させていただき、議長の職を解かせていただきます。議事進行に御協力いただきまして誠にありがとうございました。

4 その他

(事務局)

その他といたしまして、御報告ではございますけれども、一昨日鴨川市内は、かなり冷え込みました。宅内漏水、漏水の通報に関しまして、御報告したいと思っておりますけれども、昨日、水道局の方に水が凍って出ないといったような通報があった件数でございますけれども、約 60 件ございました。

あと、工事業者の方に聞き取りをしたところ、これは全部ではないのですが、工事業者の方で対応した件数といたしましては、約 80 件ございまして、合計で概ね 140 件程度、凍結で出なかったという所があったところでございます。

本日も引き続き 10 件程度、こちらの方に通報が入っておりまして、随時、職員の方が現場の方へ行って対応しているというような状況でございます。

以上でございます。

(川名委員)

広域の統合問題について、今年度はどのようなスケジュールでいくのか説明をお願いします。

(事務局)

安房地域の末端給水事業の統合に関しまして、少し御報告をさせていただきたいと存じます。

現在、南房総広域水道企業団を始めといたしまして、夷隅地域、また、安房地域でそれぞれ勉強会を行っているところでございますけれども、平成 28 年度におきましては、基礎調査、基本構想の最初の部分、それで、平成 29 年度までに基本構想を練るというようなスケジュールでございます。

平成 29 年度の第 2 四半期から内容の調整をいたしまして、目標といたしまして平成 30 年度に覚書を締結したいというところでございます。これは、各市町の方で覚書を調整いたしまして、そこから統合協議会を立ち上げまして、統合に向けた話し合いが持たれるというようなスケジュールで今進んでおるところでございます。

平成 28 年度におきましては、先ほど申しましたように、基礎調査を行っている状況でございます。来年度あたりから本格的に基本構想を立ち上げていくというところでございます。以上です。

(川名委員)

大体、今のところ予定通りのスケジュールで、事が運ぶというふうに考えてよろしいですか。

(事務局)

現在、基礎調査を行っている段階ですけれども、便宜上、夷隅地域と安房地域に分

かれて勉強会を行っております。南房総広域水道企業団は、夷隅地域と安房地域が分かれたパターンと、全て合併したパターンの2つで検討しているところでございまして、少しその辺が、どういったメリットがあるかというのが、出て来ておりませんので、その辺を今調整しているところでございます。

5 閉 会

(事務局)

以上をもちまして、平成28年度第3回水道事業運営委員会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

平成29年2月24日

会議録署名人 川上 正利

会議録署名人 満田 秀夫